

浸水時の地下室の危険性について

- 地下室を安全に使うために -

平成12年6月 (財)日本建築防災協会
建築物防災推進協議会

豪雨・洪水の時に地下室は危険です

1999年の梅雨時に発生した豪雨では地下室で水死するという痛ましい事故が起きました。

福岡市博多駅周辺のオフィス街が冠水し、ビル地下1階の飲食店で女性店員が逃げ遅れて水死しました。駐車場の入口などから水が急激に流入して、「逃げられないかも知れない」と電話した直後に悲鳴がして、連絡が途絶えました。

また、東京都新宿区では、低地の住宅地が冠水し、住宅の地下室にエレベーターで様子を見に行った居住者の男性が、水没した地下室に閉じ込められて死亡しました。地下室には外階段もありましたが、水圧で扉が開かず、エレベーターも浸水で動かなくなりました。

平成10年の水害で発生した地下室被害には下記のようなものがあげられます。地下室の浸水被害はめったに発生しないものではなく、比較的頻繁に起こるものと考えて、日頃から対策を講じておく必要があります。

表1 平成10年の水害における地下室被害の主なもの(水害統計調査等による)

発生日	発生場所	被災建物	被災事例
7月27,28日	愛知県 名古屋市	マンション 1棟	飲食店(新潟市内) 地下1階の床上250cm浸水しほぼ水没の状態。入り口の扉が外れ正面のガラスが1枚割れた。飲食物もすべてダメになり、電気製品や厨房施設を取り替えた。営業再開までに45日程を要した。
7月30日	神奈川県 横浜市	マンション,雑居ビル 4棟	
8月3日	東京都 大田区	マンション 1棟	
8月4日	新潟県 新潟市	病院,病院,雑居ビルなど 14棟	
9月15,16日	東京都 中野区	店舗付集合住宅 1棟	庁舎(高知市内) 地下のドライエリアに水がたまり、これに面する窓から流入。地下1階の床上10cm程度浸水し、空調機やILB-タなどが故障。ILB-タの復旧に2週間以上を要した。
9月22日	兵庫県 神戸市	雑居ビル 1棟	
9月24,25日	高知県 高知市	県庁舎,雑居ビルなど 19棟	
10月17,18日	岡山県 津山市	雑居ビル 2棟	

豪雨・洪水時の地下室での行動原則：

洪水時には地下室からすぐに避難することが大切です

地下室を豪雨や洪水に対して浸水しにくい構造にすることも必要ですが、これにも限界があります。洪水時には地下室からなるべく早く避難することが非常に大切です。

ですから、地下室での豪雨・洪水に対する危険性を認識して、洪水時には必要な情報をいち早く知り、避難する仕組みを常日頃からつくっておくことが、基本的かつ重要な事柄となります。